

県道太子御津線バイパス道路の整備

県道太子御津線は、姫路市西部において国道179号から国道250号までを南北に結ぶ主要な道路であり、中播磨から西播磨地域における産業活動及び地域交流を支えています。

しかし、本路線とJR山陽本線が交差する茶ノ木踏切は、朝夕の通勤時間帯に慢性的な渋滞を引き起こすなど、円滑な交通の確保や踏切事故防止が喫緊の課題となっています。

そこで、JRと立体交差するバイパスの整備により、安全で円滑な交通の確保や沿道環境の改善等良好な市街地形成を図るとともに、JR網干駅周辺のまちづくりを支援します。

事業区間	揖保郡太子町糸井～姫路市網干区和久
延長	1,176m
幅員	全体幅員18.0m～30.0m 車道幅員6.0m（2車線＋両側歩道）
総事業費	53億
事業年度	平成23年度～平成29年



現況

道路計画概要

北行き渋滞状況



南行き渋滞状況

